

ちばりんりん／2019 冬

2019.12.28 発行 千葉県サイクリング協会 (CCA) 第 113 号



筑波山の梅林：矢代嘉郎

令和元年 9 月 10 月の台風 15 号、19 号、更に 21 号の影響による豪雨により、会員の皆様、地域の皆様におかれましては多大な被害とご不便を被りましたこと、改めてお見舞い申し上げますとともに、一時も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。新年を迎え、皆様良き年となりますようお祈り申し上げます。

報 告

- ◆**対外活動**：
 - ・第 55 回関東甲信越サイクリングラリー新潟県大会に参加（岩間理事長）。（2019/9/28～29）
 - ・太平洋岸自転車道ナショナルサイクルルート指定推進千葉地区協議会（従来の太平洋岸自転車道推進千葉地区協議会の発展）に出席。2019/10/29
 - ・千葉市自転車を活用したまちづくり補助事業の採択を受け、千葉市と協議（2019/9～）
 - ・ツール・ド・ちば実行委員会、ルートの試走など実行に向けての活動。（2019/9～10）
なお、ツール・ド・ちばは開催日 10/12 台風 19 号の直撃のため中止となりました。
 - ・千葉県栄町「住民活動ふれあいまつり」に出展参加。（2019/10/20）
 - ・有志により JR 東 BBBase 南房総地域のツアーガイドを実施。（2019/11/2、他）
- ◆**協会活動**：
 - ・定例理事会（2019/10/27、12/1）。支部の活動は、支部の HP を参照してください。
 - ・定常業務のほか、HP の整備、など
 - ・来年の各イベントについて実行企画検討

2019 年度後半～2020 年度前半 イベントスケジュール（申し込みはスポーツエントリーから）

月	日	行 事	締め切り	開催地
1	5	成田山新勝寺 初詣サイクリング&懇親会	12/15	千葉県栄町 ドラムの里
2	16	春いちばん！ 南房総里山里海サイクリング	1/24	南房総市 平群クラブハウス
3	1	サイクリングフェスティバルちば 2020	2/9	千葉市美浜区 花見川緑地交通公園
4	12	2020 柏～筑波サイクリング	3/10	柏市正蓮寺 394-11 Bianchi 柏の葉
	19	2020 木もれ陽サイクリング	3/22	千葉市美浜区磯部 2 稲毛海浜公園
6	7	CCA センチュリーライド栄～銚子～栄 2020	未定	千葉県栄町 ふれあいプラザさかえ

イベント案内

春いちばん！
南房総里山里海サイクリング

エントリー期限が迫っています！

初回の昨年好評をいただきました当イベント、今年は一層楽しいサイクリングとなるよう見直しました。

南房総の早春は菜の花、ポピー、キンセンカなどのお花畑が彩ります。木々や草花が芽吹き始めるほどよいU&Dの里山と、潮風香る里海の道をかけぬけます。

新たな趣向として、道の駅ちくら潮風王国前で花摘みもでき、お花はゴール地点まで運搬サービス付きです。美味しい春らしいお弁当もありますよ！

昨年秋の度重なる台風直撃の被害から一日も早い地域の復興を願って、サイクリングで応援するべく、皆さん奮ってご参加ください。

開催日：2020年2月16日(日) 8:00～8:45 受付

集合場所：南房総市 平群クラブハウス

エントリー：スポーツエントリーから

2019/12/8～2020/1/24(金)

参加費：CCA 会員 3000 円 非会員 4000 円

お問い合わせ：CCA 南部支部 cca.minami@gmail.com

090-2646-9927 090-7174-0690



コース：走行距離 65.8km、獲得標高 527m

多少起伏のある初中級者向けコース

走行形態：フリー（スタート時はグループ毎）

あしきり：①潮風王国 13:00 ②CP 15:00

注：・立哨員や矢印看板はありませんので、事前にコースを確認してください。

・宿泊希望の方は南房総市観光協会にお問い合わせ下さい。0470-28-5307



サイクリングフェスティバルちば

始めよう！ 三世代いきいきサイクリング
健康づくり・まちづくり

当イベントは、千葉市の「自転車を活用したまちづくり」補助事業として、CCA が初めて公的機関から補助を受けて行うイベントです。

テーマには「三世代いきいきサイクリング」、講師3名（写真）のご講演の他、バーチャルライドや自転車交通安全シミュレータの体験、そして屋外エリアでは最新 e-bike などの試乗も行えます。お子さんもおもしろ自転車やジュニアバイク等で遊べます。

市民講座では、運動生理学の権威の町田修一順天堂大学教授の講演と、著名な絹代さんとブリヂストンサイクルのオリンピック選手鈴木光広さんによるサイクリングトークセッションが聴けます。

なお、従来開催してきましたサイクリングカレッジは当イベントととして実施します。是非、ご家族でご参加ください。

日時：2020年3月1日(日) 10:00～16:00

場所：花見川緑地交通公園（千葉市美浜区打瀬2）

イベント：会場1：市民講座 13:00～16:00

会場2：展示コーナー 10:00～16:00

会場3：試乗&遊びエリア 10:00～16:00

参加費：千葉市民 1000 円/人

CCA 会員 1500 円/人、一般 2000 円/人

小学生以下は無料（但し保護者同伴のこと）

試乗のみは当日受付 500 円/人

エントリー：スポーツエントリーから

締め切り：2020年2月9日(日)

お問い合わせ：サイクリングフェスティバルちば実行委員会

yas846yos446@gmail.com 080-5429-9299

できるだけ海浜幕張駅から徒歩 or バスでお越し下さい。



町田修一氏



絹代さん



鈴木光広氏

トピック

台風の影響を受けて

理事長 岩間康徳

9月8日の深夜から台風15号が千葉県を縦断して、ここ南房総地域も多く被害が出ました。

自宅から近い漁港の布良(めら)地域は瓦や壁の被害が多く見られ、半分以上の家がブルーシートで覆われていました。ちなみに我が家は、ハンドメイドの自転車小屋が一部損壊、カーポートの屋根の亚克力板が1枚飛ばされ傾いてしまいました。そのほか栗や桃や梨の木や庭木も倒されました。鋸やチェーンソーで切ったり傾きを直したりの作業が未だ終わってません。

9日の未明から停電になり、電気が使えず井戸のために水も出ません。幸いにしてお風呂の水が残っていたので、トイレ用に使っていました。炊事にはプロパンガスなので煮炊きは可能でした。家にはペットボトルの飲料水やインスタント食品・保存食・缶詰等もあり、懐中電灯の暗い中での質素な食事は出来ました。テレビは見られないインターネットも繋がらず、暗くなったら寝るしかない生活が続きました。

そんななか12日には海上自衛隊(館山航空隊)にて4日ぶりにお風呂に入り、洗濯機を使つての洗濯も出来、リフレッシュしました。近くの相浜漁港では八戸の陸上自衛隊の移動風呂も利用させて頂きました。市の各施設では水や非常食や炊き出しなどを頂き、ブルーシートや簡易懐中電灯も貰いました。そんなこんなで車でアチコチ動いて多くの物資を余るほど頂きましたので、不便ではあっても十分な食事や質素な生活はすることが出来ました。なお、車にはほぼ満タンにガソリンが入っていたことも幸運でした。



我が家の停電は9日から18日までの10日間、更に10月11日には台風19号により12日の未明から3日間停電しました。一度経験したため、淡々と3日間を過ごすことが出来ました。それでも、各地の甚大な被害に比べると、我が家の被害は軽微な部類といえます。台風15号直撃から1ヶ月半過ぎた10月25日に布良地区に行つたところ、家のほとんどは未だブルーシートに覆われていました。友人の家では2階の屋根が無くなっており、ブルーシートも飛ばされ、雨で濡れてもう住めないようです。

経験から思うことは、車には常にガソリンは3分の1以上入れておく、風呂の残り湯は残しておく、スマホ用のモバイルバッテリーは充電しておく、懐中電灯は使えるようにしておく、もちろん飲料水や保存食は最低限用意しておくことが必要です。田舎暮らしではチェーンソーや発電機も必要と感じました。

私共更に歳を重ねると、運転免許を返納し、体が不自由になり行動が難しくなった場合、今回経験したような情報収集が出来なく、物資の補給も出来なくなるので、これから大切なことは「近所付き合い」が一番大事だと思い知らされた次第です。

被害を受けた皆様に心より声援を送りたいと思います。明日に向かって立ち上がって下さい!!

(2019/10/25 記)

イベント報告

栄町 住民活動ふれあい祭り に出展

2019年10月20日(日)、栄町のふれあい祭りに出展、爽やかな秋空の下、70人強の子供たちが自転車で元気に遊んでくれました。バランス自転車、ミニ自転車、各種サイズのMTB、ハイブリッドローラー台などを用意しました。10:00開始と同時に待ち構えたように受付に来、競うようにバランス自転車やミニ自転車を乗りこなす子、サイズ違いを試す子、など見ていると心とむ光景でした。また、栄町の祭り担当者からもお礼のお言葉をいただく事ができました。

自力で走る最速の道具である自転車は、単なる道具のみでなく、皆を明るくするスポーツである事を再認識しました。なお、大人の試走がなかったのが少



次々とやって来る子供たち

ビックリ!
自転車10台を積んだミニバン

し残念ではありましたが。次年度も是非続けたいものと思った秋の一日でした。

取材：矢代

特集：サイクリング女子会 その1

最近、一般道路でも女性サイクリストを見かけることが多くなりました。グループ走行に混じって颯爽と走っている姿も見かけます。しかし、サイクリング環境などは必ずしも女性に優しいとは言えません。今号では女性サイクリストの思いやレポート等を紹介し、更なる普及、楽しいサイクリングへの一助にしたいと企画しました。今後も続けて掲載する予定ですので、皆様からの更なる投稿をお願いいたします。



サイクリングは出会いのスポーツ

日光・四万温泉の旅

目黒明子（宇都宮市）

秋の自転車旅行は、日光、金精峠を越えて、群馬県は水上、四万温泉の紅葉を二日間にわたって楽しんできました。

1日目。宇都宮4時半スタート、日光市街までは滝ヶ原峠を越えて向かいます。どの季節でも朝陽のなかでのヒルクライムは大好きです。朝の新鮮で澄んだ空気のなか、朝陽を浴びて登るのは本当に素敵です。

渋滞する前のいろは坂を登り、8時半頃明智平に到着しました。紅葉の終わりにかけている男体山に赤いロープウェイがよく映えます。中禅寺湖をぬけ、竜頭の滝をすぎて、荒涼とした戦場ヶ原を走り、湯ノ湖に到着。湯滝を眺めながら豆大福をいただきました。川魚等も売っていて、貴重な補給の場所です。豆大福は豆がたくさん入っていて地元のサイクリストにも人気です。湯ノ湖は湖面が美しく、遠くにはこれから登る金精峠の九十九折りがずーっと見えています。紅葉がおわり、落葉すると山々は一気に見通しが良くなる、そんな晩秋の風景も好きな季節のひとつです。

そびえたつ日光白根山に向かって最後の峠を行きます。男体山、湯ノ湖、九十九折が見渡せる撮影スポットで写真を撮り、群馬県側へ長い長いダウンヒル。菅沼、丸沼を過ぎて片品までノンストップで下りました。片品のふらいばんという洋食屋さんで昼食をとり、水上への最後の峠に備えます。最後に越えるのは坤六(こんろく)峠で、水上側は照葉峠という文字通り紅葉の名所です。ゆるくてとても長い区間なので、長い期間紅葉を楽しめます。夕暮れの奈良俣ダムも紅葉と夕陽で真っ赤に染まり、一日の終わりです。



2日目。水上から仏岩を越え、赤谷湖を眺め、たくみの里で巨大イノシシを撮影。大道峠を越え、2日目のメインである四万温泉に到着。小さいけれど趣のある四万取水ダムに寄ってから昼食にします。群馬県名物焼きまんじゅうとおつきりこみうどん、日陰はとても寒いので温まります。いよいよ奥四万湖。雲ひとつない青空と、四万ブルーと言われる湖面の碧、ふたつの青の境は紅葉の黄色と紅で色彩豊かに区切られ、ため息が出るほど美しい景色でした。歩いてまわるには少し遠い、車ではあつという間のこの距離を自転車では堪能することはとても贅沢な時間です。帰り道は高山村の林道で、小野子山の山際を走り、渋川駅に帰着しました。

私が自転車と出会って魅了されたものは山とロングライドです。日常ではフルタイム勤務、子育て真最中。自転車に乗り始めた当初は知り合いもなく、ただ自転車に乗っているだけで楽しい、もう少し遠くへ行ってみたい、でもどうしていいかわからないという毎日でした。「自転車は出会うスポーツだ」ということも知りませんでした。でも自転車に乗っていれば誰とでも楽しく走れます。見ず知らずの初心者である私と自転車に乗ってくれる人達がいたことは今でも忘れられません。そのつながりで、自転車仲間が増えていきました。誘われればどんなに緊張していてもなるべく



ブルベ友達と



たくみの里のイノシシ



奥四万湖

参加しました。インターネットでみつけた地元のチームにも入りました。レース志向の方が多いですが、サイクリング、ヒルクライム、トレランからシクロクロス、MTB、マラソンから登山まで皆さんいろいろな自転車の楽しみ方をしています。そこでは自転車の楽しみ方が様々であることを直接知ることができます。今年は憧れだったブルベにもいくつか参加することもできました。なるべく遠くへ、写真も撮りながら楽しく走るには強くないとできません。宇都宮には家事や育児、仕事の前に朝練するチームもあり、そこにも参加しています。初心者だから、遅いからとためらう気持ちは今も根強くあり、日々その気持ちとの闘

朝練チームメンバーと



いですが、自転車に真摯に向き合っている方たちほど親切で強い。そういう方々の大きな胸を借りて、少しずつ成長していきたいと思っています。



美的☆自転車生活

～女性サイクリストの日々思うこと～

下条由紀子（佐倉市）

ロードバイクを始めて6年。夫から勧められたのがきっかけでした。始めて3年は、タイヤに空気を入れることも、自分が汚した自転車の掃除も全て夫任せで、私はただ乗るだけ。しかし、一人で乗り出せない不自由さを感じて「自転車自立宣言」。今では一人でライドも、輪行も大丈夫！ この夏は青森へ、一人輪行もしました。そうした女性サイクリストの、自転車愛を綴ってみます。

<一人ライドは目標を決める>

「パン屋さんめぐり3軒」「牧場ソフトクリームを食べに行く」など、一人で出かけるときは必ず目標を決めて出発します。目標を決めないと、すぐに弱い私がささやき始めます。「帰ろうかなあ、だって向かい風で辛いから…」弱い私と闘いながらも、おいしいものを食べると幸せと達成感はウナギ登り。

さらに、新鮮な野菜を買い込み、お土産を背負って帰ります。野菜の重さが半端ない！おしり痛い！と半泣き状態。帰りのお土産を入れるリュックは、ガーミンと同じ大きさの優れもの。私のお勧め小物です。

<強かわいいウェアが欲しい>



女性の皆さん、デザインも機能も優れているウェアを着ていますか？女性向けのウェアが少ないのが残念なところ。種類がない上に、イベントで自分と同じウェアを見つけてしまったものなら、もうテン

世界で1枚しかないお気に入りのウェア。着心地はイマイチ…



愛用のリュックとガーミン

ションは一気に急降下。

機能も充実、かわいいけれどちょっとかっこいい、そんなおしゃれなウェアを選べるようになると、女性サイクリストもぐんと増えますね！

<ロードバイクでダイエット>

女性なら一番気になる場所。自転車に乗ることで体重維持ができているのは、本当に嬉しい！しかも、ライド中にガテン系の定食をがつつり食べても、アイスを一日に3本食べても、罪の意識なしで食べられるのも自転車のおかげ。特に山を登ると、ウエスト辺りと背中の中無駄な肉がごそっと落ちて、一週間はいつもより細めのウエストラインを維持できます。でも困ったことに、お肉はすぐに復活してしまうので、美しい？ウエストラインを作り出すために、近所にお山が欲しいです。

<カモシカのような美脚になれるの？>

「足は細くなる」と言われていますが、いつになったら美脚になるのでしょうか？膝の上や足首まわりのお肉は少し落ちたような…でも確実にモモは太くなっています。かっこよく言えば「メリハリがある足になっている！」

カモシカには程遠いですが、美脚を作る内転筋をペダリングで鍛え、いつかは美脚に。そう信じて今日もライド、行ってきます！

サイクリング随想

連載：ロードバイクで台湾一周【臺灣環島】ツーリング：その3

三連勝クラブ・シニアチーム 65～78 歳爺々 5 人の台湾環島



佐藤明弘 西堀常政
高安 稔 小坂忠久
高野康之 (文)
竹内啓治 (国内サポート)

注：著者ご承諾のもと大幅に縮小編集させていた
だいています。

(前号 6. 第3日目台中
→嘉義 のつづき)

11:40、西螺大橋を渡ると雲林県西螺の市街に入る。雅な延平老街を散策して、道沿いに鎮座する西螺福興宮を訪ねた。宮内は厳かで観光客も疎らだった。路肩の椰子の実ジュース売りに立ち寄る。素早い手さばきで抽出した天然ジュースは台湾ならではの。18 km 程走って斗南の街に入ると、斗南順安宮という聳え立つような寺院がある(写真はその1に掲載)。雄大な光景に圧倒されるも、その手前 T 字路角に口福蒸餃店という蒸し餃子のお店発見。大賑わいだ！食堂の見分け方は混んでる事の一点。美味しい点心に感謝して腹ごしらえ終わり、一路嘉義へ。



15:35、嘉義市街手前のコンサートホールにてトイレ休憩を兼ねて訪問する。警備員の方と雑談をして退散する。16:50、市内を眺めながらホテルに到着。今までの Hostel 同様に安価でしかも親切で対応が良い。自転車の格納も事前をお願いしてある為、スムーズに1階スペースに置くことが出来た。部屋はツインルームが3室。立派なホテルが5人で一泊 TWD2,880、日本円で約11,500円。いつもの洗濯・シャワーのルーティンを済ませて、19:00過ぎに街にで、麻辣火鍋という中華山椒と唐辛子の鍋のお店で夕餉の乾杯、5人で TWD2,230 (¥8,900) の満足でした！

斗南順安宮前の街並み



美味しい蒸し餃子



台南のチキン専門店



7. 第4日目(3/18日) 嘉義 → 高雄 126km/456km

5:00 定刻起床。
自転車の整備を済ませ 6:00 ホテルを出発。イートイン完備のコンビニで朝食をとる。平均 71 歳の爺々 5 人組のエネルギー補給は凄まじい！



7:56 まだ先は長いが、朝のラッシュアワーの排気ガスが半端ない。八掌溪という川を渡り、市街地を抜けて広々とした1号幹線道路は色とりどりの花を咲かせた街路樹や植え込みが綺麗だ。嘉義県台南市に入ると台北で見た水稻の成長が既に倍の長さになっていて、爺々 5 人南へと向かう旅を実感した。

日差しは暑いが穏やかな天候と追い風に乗って順調に台南へとひた走る。台南市街地の手前から cycling route 環島 1-17 線山海川支線という少しマニアックなルートを進み、70 km 超えて台南市内に突入する。

ちょうど昼飯時、考えあぐねているその時、日本語で声掛けしてくれる女性に会う。現地のオフィスレディで日本語が上手。斜前の小師傅というチキン専門店を教えていただいた。レジはテイクアウトと店内用の列が分かれている。戸惑う爺々 5 人を見かねたのか、大きな声で手招きして愛想よく英語混じりの日本語で案内してくれる。この店の女性オーナーらしい。心優しい台南の女性に感謝！そして絶品チキン弁当に出会えたことにまた感動、ごちそうさまでした！

このあとは台南孔子廟を訪ねる予定だったが、交通混雑が激しく、暑くなって来た為、黄金海岸へ向かう。海岸線に出ると気分も爽快だ。16:05、高雄市内の北端の蓮池潭風景区に到着。落ち着いた景色の中に突如ド派手な巨大モニュメントが出現する。もちろん信仰の対象には違いない。見るからに祀っているのは関羽公！像の内部は数階の階層に展示された仏壇があり、参拝。湖上に佇む姿は水の都高雄ならではの趣がある。

関羽のモニュメント



蓮池淡を一周して、本日のホテル奇果快走旅店へ16:40 到着。洗濯とシャワーを済ませてビールで乾杯！19:40、夕食の場所が決まらず、高菜の炒飯 5 人前を頼む傍ら、蒸し饅頭の店でエビと肉の蒸し饅頭を買い、ツイン一部屋に集まって乾杯と反省会と明日の行動予定の確認。高雄の名所の一つ愛河のライトアップに行けなかったのは残念であった。



8. 第5日目(3/19) 高雄 → 車城 101km/557km

いつも通り 5 時起床、各自玄関前で自転車の調整をする。前日コンビニで買った朝食のパンと牛乳をパクつきながら今日の流れを全員で確認し、6:20、本日 100 kmの旅の始まり。今日も快晴になりそう！

高雄駅の高架橋を渡って 20 分、7 時前から広い省道 17 号のバイク専用ラインがスクーターで溢れ返って来た。この先に工業団地があることが容易に想像がつく。とにかく自転車 5 爺は動きが取れない。この幹線道路をめぐり交差点では引切り無しに左右からも怒涛の如く流れ込んでくる。しかも、台湾の信号機はカウントダウンの数字が表示されるのだが、100 台を優に超えるバイクが青信号に変わる前から一斉にアクセルをふかし始め、排気ガスが充満して息苦しくなる。バイクと一緒にスタートは命取りになり兼ねず、バイクをやり過ごしてから直進すると、今度は後方から右折車が猛スピードで前方を横切る。

この幹線道路を避けて脇道の細い道路に入ったりしながら、結局大通りに戻ると、なんと、複線の古い軌道跡にサイクリング道路が付帯しているではないか！しかもこれが環島 1 号線の標識。この CR を通りながらなんとか高雄国際機場前の高雄公園まで走り抜け、ほっと一息つく。いやはや台湾高雄、恐るべし！自転車ツーリングでなければ見ることができない朝の殺人的通勤風景の目撃者になったみたいだ。

通常走行に移行して 09:20、東港溪に架かる進徳大高雄の通勤バイクラッシュ



軌道跡の CR



東港東隆宮



東港東隆宮 金箔の門

橋を渡って東港東隆宮を参拝する。日本人にしたら何もかもが派手な色彩美の外観と寺院の中の荘厳さに驚かされる。金箔の黄金に輝く総工費 8,000 万円の山門に圧倒される。またこの寺院本堂は 4 階層に分かれ、孟子や孔子の他多数の像が祀られている。復興支援の御礼を 5 爺皆で済ませた。次に、河口の鎮海公園手前、東海鎮海宮を訪ねる。ここは昔の造船技術を駆使して建立されたらしい立派な寺院。内部は天井が高く荘厳な面持ちでした。

11:00、大鵬湾跨海大橋を渡り、左手に大鵬湾の大きな入り江そして右手に台湾海峡を眺めながら護岸を走る。台湾海峡奥には琉球嶼という島がある。ツーリングに歴史の興味は尽きず、帰日後の楽しみにする。11:50、食堂が軒を連ねる道路沿いに「素食」の看板を発見、これは定額ビュッフェ形式の店だった。昼食を済ませ、街はずれのコンビニに立ち寄ると、地元の青年が台日友好のベストを見て声掛けして来た。お互いの言葉と英語を織り交ぜて会話していると、スポーツドリンクを差し入れてくれた。

16:30、車城市街地に入り、街中をスローペースで進むと対向車がクラクションを鳴らす。どうしたのかと思いきや宿の旦那であった。16:45、車城背包客棧・Chechen Backpackers Hostel に無事到着。ここでもやはり女将が段取りを取り仕切っている。本日の宿代は TWD2,100/(5 人)。期間中の最安ホステル！祝杯予算に余裕があると言い訳しながらビールを買い込んでくる。因みに¥160/本(330ml)、¥200/本(500ml)ほどの価格だ。部屋を整える間、中庭のテーブルで無事到着の祝杯を交わす。すると、ここの主の爺さんが台湾茶のセットを持ってお出まし。ちょっと考えながらの日本語で私たちが歓待してくれる。日本語を話す機会に遭遇して意気揚々だ、遅れた私たちを待ちくたびていた風ではあった。だんだん日本語が流暢に、、、。

車城市内のフレッシュジュース屋



車城背包客棧の土間のようなところで、「茶道」の揮毫を背後に台湾茶をたてながら笑顔が絶えない主の曾天助さんと同級生で幼馴染の浅井きよ子さん。昭和8年生まれ、御歳は数え87歳のお二人。とにかくお元気、尋常小学校当時の話から地域のことで話が絶えない。お二人とも車城生まれの車城育ち、我等5爺共々話が弾む。そして、童謡・唱歌・軍歌と覚えている歌がどんどん出てきて、皆で大合唱だ。このような出会いは望んでもそうそう出来るものではない！

台北から車城まで557km。あっという間に台湾環島1号線ツーリングの西側半分が終了した。明日は海拔0mの宿から標高460mの壽峠まで約40kmの登り、台湾を東西に横断して台東へ入るルートだ。21:40、隣室では若店主友人らがジャラジャラと麻雀に興じているが、皆あっという間に爆睡モードとなった。

9. 第6日目(3/20) 車城 → 知本 106km/663km

5:00 起床。近所のコンビニで朝食・携行食を買い、中庭でゆっくり朝食をとり、本日のルート打合わせ。

7:00、日の出の陽光に向かってスタート！少し走ってから心地よさに皆気が付いた。低木に植栽された花木が道路脇を住宅の生け垣のように続いているのだ。濃いピンクや白色、オレンジ系統の多様な花々が出迎えてくれていた。うん!? ひょっとするとこれは男の花道か…などと喋りながら登っていく。走りながら、台湾の豊かな土地と豊かな心根の人々に感動を覚える。

7:30 屏東県牡丹郷の入口に先住民パイワン族の先住を偲ぶモニュメントがあるが、人の気配が殆んどない。さらに行き、橋を渡った先、村外れでいい匂いがしてくる。山間の広い自宅敷地入口の出店で、お姉さんが台湾名物のソーセージを焼いている。一旦通り過ぎてから引き返した！旅のチョイ喰いは縁日の食べ歩きみたいなものか、目が欲しがらるのだ！パワーアップして



宿の主曾天助さんと同級生の浅井きよ子さん
日本の童謡・民謡・軍歌の大合唱となる！

車城のホステル背包客棧



花咲く車城のルート



2019年11月半ば、自転車仲間に誘われて那須高原を走った時の写真です。苦手な峠を必死に登っていき、疲労困憊の所で仲間が連れて行ってくれた展望台。せっかくの雄大な景色を少しでも残しておきたいと、逆光にも関わらず必死にシャッターを切ったら撮れてしまった奇跡の一枚です。

投稿：新井 英明

少し上る間もなく右手に視界が開けた！東海岸、太平洋が一望できる場所、台湾環島の半分が過ぎたことを実感した。万歳！9時半過ぎ、楽しんで上っている内にあっけなく頂上の寿峰鐵馬驛站到着した。

(つづく)

千葉県サイクリング協会 (CCA)

<https://www.chiba-cycling.org/cca/>

編集委員会：主査 矢代 嘉郎 副主査 澤西 和文
委員 綿貫けい子 (西部) 大熊 義則 (東部)
原地 千穂 (北部) 新井 千之 (南部)
山崎 和也 (中部)

編集後記

発行者 〒294-0233 館山市大神宮 1393
千葉県サイクリング協会
理事長 岩間康徳 電話 090-6167-1358
編集者 矢代嘉郎 電話 080-5429-9299
yas846yos446@gmail.com